



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

イラン経済：予算関連（3月7日～18日）

1. 補助金合理化予算と財政赤字（7日付シャルグ紙）

政府は、来年度〔ヒジュラ太陽暦（イラン暦）1392年（2013年3月21日～2014年3月20日）〕予算案の中で、一般会計予算の62%を補助金合理化予算と位置付けており、これにより、慢性的なインフレに対処しようとしている。しかし、一般会計に占める補助金合理化予算の割合は、1389年（2010年3月21日～2011年3月20日）：16%、1390年（2011年3月21日～2012年3月19日）：28%、1391年（2012年3月20日～2013年3月20日）：40%と、財政赤字の中で年々増加傾向にある。

2. 来年度予算における政府機関数の増減（10日付ケイハーン紙）

戦略計画・監督担当副大臣は、来年度〔ヒジュラ太陽暦（イラン暦）1392年（2013年3月21日～2014年3月20日）〕予算における政府機関数の増減に関し「300の主な政府機関は61にまで減少する予定である。予算案では、大統領府予算もまた、今年度〔ヒジュラ太陽暦（イラン暦）1391年（2012年3月20日～2013年3月20日）〕の532兆リヤールから499兆リヤールに減少している。他の政府機関も同じ流れに沿っている」と述べた。

3. 国会による暫定予算承認（11日付シャルグ紙）

イラン国会は、総額450兆リヤール（約367米ドル）となる来年度〔ヒジュラ太陽暦（イラン暦）1392年（2013年3月21日～2014年3月20日）〕3カ月分の暫定予算を承認した。同承認により、政府は450リヤールを受け取り使用することができる。

4. エネルギー価格に関する国会議員の発言（12日付ケイハーン紙）

タヴァッコリー国会議員は来年度〔ヒジュラ太陽暦（イラン暦）1392年（2013年3月21日～2014年3月20日）〕予算に関し、1,250兆リヤールを歳入として確保するためには、エネルギー価格を4.5倍上昇させる必要があると主張し、「既に政府は90兆リヤールの不足分をイラン中央銀行から借り入れている。エネルギー消費のうち63%は製造、サービス、交通部門によるものであり、物価上昇の他、失業率の増加、および、残る36%を占める一般家庭部門でのエネルギー消費にも影響を与える」と述べた。

5. 現金給付の増額を差し止め（13日付イーラーン紙）

3月12日、国会議員らは、来年度〔ヒジュラ太陽暦（イラン暦）1392年（2013年3月21日～2014年3月20日）〕第1四半期（2013年3月21日～6月21日）における現金給付の増額を差し止めることを決定し、これに関して政府が更なる取り組みを実施することを違法と見なすとした。大統領選挙を前に広まっている、現金給付増額の噂を払拭する狙いがあると見られる。

6. 憲法擁護評議会による来年度予算案否決（14日付ジョムフーリーイエ・エスラーミー紙）

憲法擁護評議会は、来年度〔ヒジュラ太陽暦（イラン暦）1392年（2013年3月21日～2014年3月20日）〕第1四半期（2013年3月21日～6月21日）の予算案を否決し、国会に、更なる修正を促した。ソブハーニーニヤー国会議員は、「（6月に控えた）大統領選挙向けの予算は、来年度の第1四半期（の当初予算）に盛り込まれるべきであり、暫定予算の中に盛り込まれるべきではない」と述べた。

7. 来年度予算における石油収入依存度の減少（14日付イーラーン紙）

メスバーヒー＝モガッダム国会予算計画委員長は、来年度〔ヒジュラ太陽暦（イラン暦）1392年（2013年3月21日～2014年3月20日）〕予算での石油収入への依存度を40%減少させたことに言及し、予算案の16%以上を税収から得ることを想定した。来年度予算における石油の輸出量は、今年度から90万バーレル減少の日量130万バーレルだとしている。

8. 憲法擁護評議会の1392年度暫定予算承認（18日付アブラーレ・エグテサーディー紙）

メスリー大統領府報道官は、来年度〔ヒジュラ太陽暦（イラン暦）1392年（2013年3月21日～2014年3月20日）〕第1四半期（2013年3月21日～6月21日）の予算案を、1392年度暫定予算として、憲法擁護評議会が承認したと発表した。1兆7,000リヤールを大統領選挙向け予算としている。承認された予算では、50兆リヤールまでの歳出が認められており、これ以外のいかなる支出も法律で禁じられている。

◎本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 公益財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799